

もりのかぜTM Vol.9



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

〈CONTENTS〉特集●県民の森 森の名手・名人を訪ねる／2 緑育REPORT／4 市町村の緑化推進委員会を訪ねて／6
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

第十九回全国植樹祭(昭和四十三年)を記念し、あわせて「明治百年記念行事」として隣接の石倉沢県営林を含めて造られた145haの森林公園です。瑠璃色の湖・田沢湖を望みながら様々な樹木の観察や森林浴等を楽しめます。

〈特集〉

県民の森



全国植樹祭の3日前、十勝沖地震が発生し両陛下の行幸啓は取りやめになりました。石碑には、ここに来てみんなで植樹をしようと思っていたがかなわなかったというお気持ちを詠んだ御製が刻まれています。



- DATA**
- 所在地 / 田沢湖田沢字大森
 - 問合せ先 / 管理事務所: 0187-43-1960
 - 交通アクセス / JR田沢湖駅より羽後交通バス「田沢湖一周線」を利用。県民の森で下車、徒歩1分(所要時間約20分)
*市営田沢湖キャンプ場から時計回りに0.8キロメートル、徒歩10分。
 - 通年見学自由(管理棟、トイレは12~3月閉鎖)



春には桜やツツジなどの花々が、秋には樹々の紅葉…と年間を通して森の彩りを楽しめます。



「都道府県の木」コーナーは日本地図をかたどっています。森林浴しながら各地の様々な樹木を観察しましょう。

湖畔の森で森林浴

田沢湖を眼下に望む広大な森林公園・県民の森。
昭和43年の全国植樹祭に続き、昭和53年には全国育樹祭、平成19年には秋田県植樹祭が開催されました。
「都道府県の木」や「世界の木」のコーナーでは年間を通じて様々な樹木を観察できます。
散策路は石倉沢県営林入口まで約4kmのコースがあり、自然林や野鳥観察を楽しめます。
森の恵みのエリア・県民の森で森林浴やハイキングなどリフレッシュのひとつときはいかがですか。



県民の森から望む田沢湖



整備された散策路が続く

伝統文化を次代へ繋ぐ 茅葺き職人・親方は九十歳

茅葺き職人

村上 賢助氏

「森の名手・名人百人」の認定・顕彰について

公益社団法人国土緑化推進機構では、平成十四年度から、新たな国土緑化運動の一環として、森を守り、育て、その恵みを活かして持続的に循環していくことの重要性を社会に訴えるとともに、国民の森づくりへの参画を促す運動として「もりのくに」に「ほん」運動を展開しており、すぐれた技を極め、他の技術・技能者等の模範となつている達人を、「森の名手・名人」として認定・顕彰してきました。



屋根の上で力強く作業する村上さん。後方は弟子の柴田さんと佐藤さん。

日本の伝統家屋である茅葺き民家は、近年エコロジー住宅として注目されています。軽くて通気性と断熱性に優れ、特に夏の涼しさはクーラーの冷房とは比較にならない気持ちの良さだといえます。そんな茅葺き屋根を支える茅葺き職人の村上賢助さんが平成二十八年度森の名手・名人に選ばれました。

九十歳の現役茅葺き職人

村上さんを取材した作業現場は、横手市山内地区(旧山内村)の旧家・高橋家でした。文久四年(一八六四)建築の立派な茅葺きのお屋敷です。

今年九十歳の卒寿を迎えた村上さんは、「一人のお弟子さんとともに屋根にさがり作業をしていました。道具を扱う手もハンゴを登る足取りもしっかりしていて、とてもそんな高齢だとは信じられません。酒も煙草もやらず「早寝早起き」が健康の秘訣なのだそうです。

戦争が変えた運命

村上さんが茅手(かやで)茅葺き職人となったきっかけは戦争でした。昭和二十一年に徴兵検査に合格した村上さんは、せっかく就職した東北電力を辞め、出征することになりました。ところが、あと十日程で入営という時に終戦を迎えたのです。職を失った村上さんは、叔父さんの伝手で茅手の親方に弟子入りしました。二年後に親方が病気で倒れると、兄弟子でもあった叔父さんの元で修業を続け一人前になりました。

当時、茅手は職人の中でも底辺の汚れ仕事だと思われていました。古い茅には煤がびっしりと付いていて、作業が終わると全身が真っ黒になるからです。それが現在は、茅手が不足し「頼むから引き受けてくれ」と懇願され、大事にされる職人になったといえます。依頼は殺到するのですが、一軒の作業に数週間かかるため、年間にこなせる仕事は二十軒に満たないそうです。



茅葺きを使う道具は、用途に合わせた独特の形をしています。これらは野鍛冶の方に作ってもらったものです。



人と自然との調和が、自然素材の茅葺き屋根や庭に満ちあふれている高橋家の佇い。

引退を思いとどまり後継者を育成

戦後の経済成長とともに茅葺き家屋も茅手も減少の一途を辿りました。その中でも村上さんが住む羽後町は、県内でも茅葺き家屋が多く残っていることで有名で、近年はこうした伝統家屋が町おこしの資源として見直されています。町では茅手の減少、中でも後継者問題に危機感を抱きました。そこで平成二十一年から国の交付金を使って「かやぶき職人育成事業」を始めたのです。

実はその頃、村上さんは引退を決意していました。町から育成事業で後継者を育ててほしいと頼まれても、引退するつもりは村上さんは何度も断りました。最後には町長と助役が揃って村上さんのもとを訪れ、直々に説得したといえます。町の熱意に押された村上さんは引退を撤回しました。その時に弟子入りしていたのが、取材当日村上さんと一緒に作業をしていた柴田徳一さんと佐藤雅紀さんで

難しい仕事こそやりがいが

萱葺き屋根は規格があるわけではなく、一軒一軒が少しずつ違ってきます。ところがどんな屋根でも村上さんが戸惑うことはなく、即座に対応できるのが「親方のすごいところ」だとお弟子さんたちは語ります。村上さんは、千鳥破風(屋根の妻側につく装飾)のあるお寺の屋根などは、きれいなカーブを作るのが難しいが、難しいからこそ挑戦していきたい仕事だと話してくれました。「このあくなきチャレンジ精神も村上さんの元気の素のような気がします」。



屋根裏での作業も足取り軽やかな村上さん。屋内とはいえ高所作業だ。



茅の葺き替えは、足場を組んだり、茅を積み上げたり力仕事。一定範囲を「差し茅」と呼ばれる手法で葺き直し、何年もかけて一周します。奥に見える屋根は6年前に直した箇所。



茅葺きを使う茅は、かつては地元で茅を刈る人がたくさんいたのですが、今では県外の専門業者から購入しているそうです。



村上 賢助さん

昭和2年(1927) 雄勝郡羽後町生まれ。終戦後茅葺き職人の親方に弟子入りしてから70年以上にわたって茅手を続け、今なお現役で屋根にあらがり作業をする「茅葺きの名人」。

〒012-1243 羽後町軽井沢字金四郎沢87
TEL 0183-67-2485



《緑育REPORT》

秋田県立 能代支援学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林等を中心とした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育活動の中から、今回は秋田県立能代支援学校を紹介します。



秋田県立能代支援学校

森の中の学校をめざして

小学部 中学部 高等部と幅広い学年の子どもたちが在籍する秋田県立能代支援学校。同校では、平成二十七年から「森の中の学校プロジェクト」を進めています。これは五か年計画で国内有数の広さを誇る学校の敷地内にブナやナラなど十数種類の苗木を、毎年二五〇本ずつ植樹するというもので、NPO法人あきた白神の森倶楽部の協力のもと、全校の児童生徒と保護者や地域住民の方々が多数参加して植樹が行われています。

植樹によって森を身近に感じ、環境の大切さを学ぶことはもちろんですが、それだけではありません。

小学部から高等部の皆が一緒にになり、さらにPTAや地域の方々が協力して苗木を植えることで、子ども同士はもちろん、地域との絆が生まれます。

障がいを持った児童生徒が学ぶ支援学校に

ついて、無理解からくる誤解や偏見をなくし、子どもたちがすくすく育つよう守っていくためには、こうした地域の方々との交流によってお互いの理解を高めることが何より大切です。この絆を深め、広げるといってもプロジェクトの大切な目的の一つです。



植樹を通して地域の方々との絆が深まっていく。子ども同士にも兄弟のような絆が生まれる。

絆を広げるさまざまな取組

能代支援学校では、地域に貢献し交流を広げるために、さまざまな活動を行っています。

「花いっぱい運動」で市内や国道へ花のプランターを設置したり、「風の松原の景観保全運動、地域のクリーンアップ活動や除雪ボランティアなどは、そのための直接的な活動と言えるでしょう。

そのほかにも平成八年から続く同校の名物であるミュージカル公演「能代支援学

校ミュージカルは地域の恒例行事としてすっかり定着しています。

また敷地内の畑で生徒が育て収穫した農産物やその加工品、作業学習で製作した製品などの販売も好評です。ここから発展して地域とのコラボ商品の開発、月に一度のカフェの営業、さらには修学旅行先の東京や京都でPRを兼ねた販売活動を行うなど、積極的にオリジナリティに溢れた多彩な活動は、本当にこれが一つの支援学校が行っていることなのだろうかと思わされます。

生きる力を育む教育

ブナの葉で染色した布小物品、二通りの高さで使えるテーブルにもなる幼児用椅子など、同校から生まれて話題となった製品は多数ありますが、その製作指導に当たるのは招かれた技術者職人ではなく教職員です。まずは先生方が現場に学びに行き、技術を習得し、それを生徒たちに教えるのです。取材の日も、桶職人の元に学びに行っている先生がいてお聞きしました。



保育園から注文が殺到している椅子「ころころ」

高等部になると、週の半分近くを作業学習に当てるのですが、それは物作りや作業活動を通して、生徒たちが卒業後に社会の一員として自立する「生きる力」を身につけさせるためののだそうです。授業の中にはスーツの着こなし、名刺交換の仕方、女子の化粧の仕方など、社会に出て困らないように配慮したものもあるということです。

地域との絆を大切にし、多くの理解が得られた結果でしょうか、同校の大半の卒



秋田県立能代支援学校

- 〒016-0005 能代市真壁地字トトメキ沢135
- 平成6年、秋田県立能代養護学校として開校。平成28年に県立能代支援学校に校名変更。
- 現在小学部20人、中学部26人、高等部39人が在籍。寄宿舎も併設している。



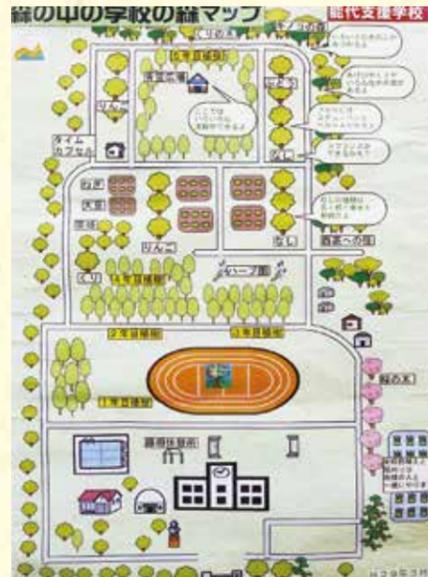
中学部の作業学習・ジャガイモ定植



▲高等部の作業学習・花苗作り。班長を決め、班長の指示に従って適確に作業を進めていく。

作業終了後は反省会を設けている。▶

優しい風合いをかもし出すブナ染めの小物



森の中の学校の森マップ看板
広大な敷地に植樹地や農産物の畑が広がる



植樹された苗木がスクスクと育っている

SERIES

市町村の 緑化推進委員会 を訪ねて

県内最大都市の委員会

秋田市緑化推進委員会は、他の市町村委員会と同様、緑の募金活動や市内の緑化推進活動などを行っています。他と大きく違うのは、秋田市が県庁所在地で県内最大の人口を抱える都市だということです。緑の募金活動では、学校に対しては直接募金の働きかけをしていますが、一般家庭については千三十もの町内会があるため、秋田市民憲章推進協議会や町内会連合会（または連合町内会）などの協力を得て、市内を四十地区に分けて担当を割り振り募金の協力をお願いしています。

また、秋田駅前周辺で行う緑の募金街頭活動キャンペーンは、秋田県緑化推進委員会と共同で実施しています。これも県庁所在地ならではの活動といえます。

今年も四月二十九日、みどりの日に「緑の少年団」や高校生の皆さんによる街頭募

第3回 秋田市緑化推進委員会

県内各市町村の緑化推進委員会は、(公社)秋田県緑化推進委員会の正会員として、ともに協力して地域の皆さんに緑の募金をお願いし、それをもとに生活環境の緑化、森林ボランティア及び緑の少年団等の育成等に取り組んでいます。シリーズでその活動をご紹介します。

金活動が行われ、行き交う人々への元気な声掛けが響き渡りました。



寄せ植えに挑戦する参加者の皆さん。会場はまさしく「花と緑」に囲まれた一つ森公園内にあります。



「森っち」も緑の少年団と共に募金活動をしました。



高校生の皆さんによる募金活動



「お願いします!!」「ありがとうございます!!」元気な声が響き渡りました。

人気のガーデニングスクール

もう一つ、独自の活動として定着し好評を博しているイベントに「花と緑のガーデニングスクール」があります。これは季節の花の植え方、育て方、楽しみ方を学ぶ催しで、秋田市下北手の一つ森公園コミュニティ体育館で開かれ、今年で十三回目を迎えました。

六月二日に行われたガーデニングスクールには、二十四人の参加者が集まりました。用意された藤のバスケットに四種類の季節の草花を配置し、土を入れて形を整え、思い思いのデザインで寄せ植えを仕上げていきます。講師の市総合振興公社の小林さんが、作業の手順を説明する他に、水やりの仕方、肥料のやり方、草花の特徴などをわかりやすく説明して回りました。

あっという間に予約終了

参加された方々にお話をうかがうと、初めての方と二〜四回目くらいの方が半々くらい、そして皆さんが口を揃えて言っていたのが「参加できたのはラッキーだった」ということでした。緑化推進委員会の方も「受付開始後、十分で予約が埋まる」と話されていましたが、とにかく申込みの競争率が高いのです。受付の日時を待ちかまえて電話をしても、ほとんど話し中で繋が

緑化功労者表彰

秋田市緑化推進委員会では、緑の募金や緑化活動の他に、独自に企画したイベントも行っています。その一つが秋田市緑化功労者表彰です。これは昭和四十八年から四十年以上も続いている事業で、主に町内会や老人クラブなどで緑の募金活動や緑化推進に長年取り組んできた個人や団体を毎年表彰しています。昨年度は二十六人の個人と、三つの団体が表彰されています。

二月に行われる表彰式は秋田市長も出席する盛大なもので、新聞報道もされるので、日頃の地道な活動を通して緑化推進に協力してくださる市民の方々の励みにもなっています。



秋田市緑化功労者表彰式



表彰を受けた泉道町内会の花壇



学びながら花に癒されるひとときです。

ならず、何度も何度もかけ直して運よく繋がった人たちが当日の参加者だったので。寄せ植えのコツを学べる上にオリジナルの寄せ植え作品が出来上がるとあって、人気が高いようです。

三十分ほどで終了する手軽な教室ですが、参加された方々はそれぞれの寄せ植えのバスケットを手に大満足。参加者同士出来映えを見せ合って会話が弾んでいました。当日は複数のテレビ局や新聞社が取材に訪れるほどで、人気のイベントに対する注目度も高まっていると感じさせました。

楽しみながら花や緑に親しめるガーデニングスクール。このようなイベントで、ひとりひとりの緑化への意識が高まり、将来「花と緑」いっぱい地域へと発展していくことを願っているとのことでした。



宮越家
阿仁地区有数の旧家。昔の呉服屋の造りがそのままの宮越家の佇まいは、間口11間の威風堂々としたもの。町が釜山で栄えていた往時を彷彿とさせます。

阿仁異人館・阿仁伝承館
異人館は明治12年に阿仁釜山が招いたドイツ人技師の官舎として建てた洋風住宅。伝承館では閉山するまでの歩みを展示。

おすすめ 目帰りプラン
町内会・老人クラブ・各種会合などにおすすめ
お料理 **3,000円** (税込) 円~

ご宿泊 1泊2食付 **9,330円** (税込) 円~
泉質・効能
アルカリ性単純温泉
pH9.4(強アルカリ性)
慢性疲労・腰痛・神経痛・
坐骨神経痛・筋肉痛・高血圧症・
動脈硬化症ほか

入湯料サービス 送迎バスのご手配
カラオケ歌い放題 お料理4,000円(税込)以上をご利用の場合、お一人様につき、お鍋子1本サービス

日帰入浴 宿泊 宴会 お食事 プール
西木温泉 ふれあいプラザ クリオン map: ルート1
〒014-0515 仙北市西木町門屋字敷田83-2
http://www.kurion.co.jp Tel.0187-47-2010

ルート4 内陸線比立内駅から阿仁マタギ駅方面へ
マタギの郷として知られる阿仁打当集落にある温泉宿・打当温泉マタギの湯。源泉掛け流しで立ち寄り入浴もできます。様々なマタギ体験メニューを揃えた「マタギ学校」も開講しています(問合せ・予約は打当温泉マタギの湯)。併設しているマタギ資料館はマタギが狩猟で使った道具などを展示。マタギ文化の一端に触れることができます。

打当温泉・マタギの湯
阿仁熊牧場 くまぐま園
ツキノワグマに餌やりのできる「熊山」やガラス越しにヒグマを観察できる「ヒグマ舎」があります。愛らしく遊ぶ子熊や迫力あるヒグマの水浴びなど自然の姿がみられます。

ルート5 隠れた名所・マタギ街道周辺に行く
阿仁川・幸屋大橋からの眺め
内陸線比立内駅の北西部、山あい大きく蛇行する阿仁川に架かる幸屋大橋。四季折々の渓流美と点在する滝が素晴らしい風景。

松橋旅館
北秋田市阿仁比立内の集落にある旅館で旧家。先代も15代目の現在の主人もマタギ。マタギの暮らしを偲ばせる調度品や珍しい「唐傘天井」の部屋、明治時代に描かれた寺崎産業の襷絵など見所豊富な館内です。

ルート6 阿仁合駅周辺に行く
チェンソーアート
チェンソーのみで彫られた彫刻が国道105号線沿いや道の駅「あに」周辺に設置されています。

専念寺山門と内陸線の風景
かつて産銅量日本一を誇った釜山だけあって、ゆかりの寺院が多い阿仁地区。山門前に内陸線の線路があり、山門と列車の接近した珍しい光景に出会える専念寺。このお寺には、顔を右に向けた立ち姿の珍しい「振り向き如来像」が安置されています。

国道105号線 のどかな農村風景 に出会う旅

秋田内陸線・八津駅～阿仁合駅沿線ドライブ



根子集落 マップ・ルート5付近
阿仁マタギ発祥の地として知られる根子集落はタイムスリップするようにトンネルを抜けると四方を山に囲まれたすり鉢状の集落が忽然と眼前に広がります。「根子番衆」は国重要無形文化財。

ルート1 角館方面から西木町八津・鎌足集落へ



かたくり群生の郷
日本一の大きさで知られる特産の西明寺栗。その栗林に「かたくり」が自生しており、規模は20haにも及びます。4月中旬～5月上旬にかけて「かたくり群生の郷」が開園され、地元のかたくり群生の郷保存会で維持管理を行っています。入園受付は「かたくり館」。ここでは古くから鎌足地区に伝わる鎌足紙の紙漉体験ができるほか、様々なイベントの会場にもなっています。



角館から鷹巣まで秋田県内陸部を縦貫する秋田内陸線。国道105号線は内陸線と並走するように走り、山あいから1～2両編成の電車がひょっこり顔を出すのどかな風景が続くドライブ・ルートです。国内トップクラスのカタクリの群生地や、西明寺栗で知られる八津・鎌足地区の田園風景を抜けるとブナ林の美林が続く大覚野街道です。途中の県道321号線から美しいコバルト・ブルーのダム湖「宝仙湖」へ足をのぼすのもおすすめです。105号線を北上していくと狩猟の民「マタギ」文化が色濃く残る集落や釜山で栄えた町の古の風景など、歴史文化に触れるスポットにも出会えます。ゆったり、のんびり一味違ったドライブの旅はいかがでしょう。

八津・鎌足集落周辺のおすすめスポット

畑中の大王様
クリオンは田沢湖観光や105号線沿線ドライブの拠点宿。食事や温泉も楽しめます。農家のそば家一助は自家製農園で栽培した蕎麦から蕎麦粉を作り蕎麦打ちをしている本格派。平成23年度に「そばの郷づくり」活動で農林水産大臣賞を受賞。畑中の大王様は内陸線松葉駅手前の畑中地区の小高い丘に立つ巨大な藁人形。真っ赤な面に体は杉の葉で覆われ迫力ある姿です。100年前前に始まったと伝承されています。

農家のそば家 一助
※写真はぶっつけそば

西木温泉ふれあいプラザクリオン

ルート2 国道105号線から右手・県道321号線へ



ルート3 国道105号線から右手・321号へ

大覚野峠
仙北市営大覚野牧場
標高520mの高原にある170haの草原。周囲の山々やのどかな放牧風景は北歐的です。ブナ林の美林が続く国道105号線を北上するとブナ林が続く大覚野峠があり、ここは北秋田市と仙北市の境です。

玉川ダム・宝仙湖
ダム湖である宝仙湖は東北三番目の貯水容量を誇り、「ダム湖百選」にも選定されています。上流の中和施設から流出した石灰水が宝仙湖で攪拌され青い湖水を湛えています。隣接する玉川ダム展示室では玉川ダムやダム湖周辺の生物について楽しく学べます。ダム見学もでき、取水ゲートやダム内を見学することができます。ダムカードも発行しています。玉川ダム下流公園は散策路、多目的広場などが整備されピクニックに最適です。宝仙湖北部のプレイパーク戸瀬はピクニックやキャンプを楽しめる静かな公園です。

カリヨンの鐘
ダム展望台にある玉川ダムのシンボル。手動で鳴らすことができます。

あきた
緑化の足跡



平成10年5月14日
第49回秋田県植樹祭開催地——南外村ふれあいパーク《大仙市》

旧南外村ふれあいパークで、第49回秋田県植樹祭が開催されました。田村南外村長他、1,300名が参加して、ケヤキ、ブナ、ドウダンツツジ、ヤマボウシ、コブシなど、十数種類630本が植栽されました。

式典会場となった村民体育館はピラミッド型の一際目を引く外観をしており、天窗から太陽光が差し込むように設計され、野外スポーツをしているかのような意匠を凝らしています。アリーナはバスケットボール、バレーボール、ソフトテニスのコートが2面とれる広さで、床暖房完備とあって冬期間も快適です。

植樹祭当時の苗木は生育が良く、四季を彩る広葉樹の森を形成し、公園内の多種多様な植物と相まって、自然散策を楽しめる

憩いのスポットとして親しまれています。

記念石碑にある「自然法爾(じねんほうに)」は、浄土真宗で使われる仏教語。「人為を捨て、ありのままにまかせること」の意。

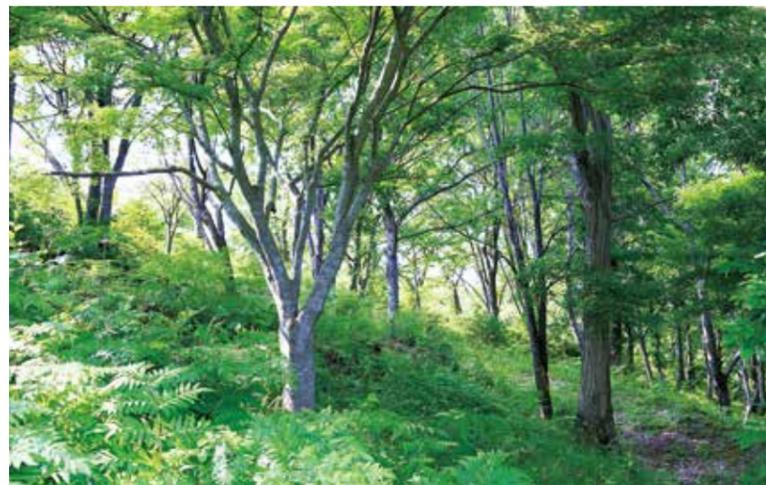
秋田県中央部・出羽山地の山懐に抱かれた緑豊かな公園でスポーツや散策などを楽しんでみてはいかがでしょうか。



緑豊かな空間に映えるピラミッド型の村民体育館

メインテーマは「ふるさとにあふれる緑と 未来に夢を」、サブテーマは「四季を彩る広葉樹の森づくり」。式典会場は南外村民体育館です。南外村中学生がキジ150羽を記念放鳥しました。

植樹祭会場となったふれあいパークは、スポーツによる健康づくりへの関心が高まるなか、旧南外村でも若者からお年寄りまで年齢に合わせたスポーツを楽しむ人が増えたことから創設されたもので、野球場、テニスコート、グラウンドゴルフ場などが整備されています。



植樹祭当時の苗木が見事な広葉樹林に生育

Photograph
この一枚

旧千畑町の本堂城跡にあるケヤキ。ここは本堂氏が拠った中世の城跡で、秋田県指定史跡となっています。周囲を水田に囲まれて、ここだけ丈の低い草地であることから他と区別されます。本堂氏は城下町を整備したとされ、所在地・本堂城回(ほんどうしろまわり)の地名に、その名残が見られます。ケヤキは城跡の北東隅に立ち、背後には土塁が良く保存され、ここが信仰の場として残されてきたようです。ケヤキは幹周約9m、樹高約26m、樹高約26m。推定樹齢は四百

年。本堂氏が常陸国へ転封となったのは慶長五年(千六百年)のこと。その頃からケヤキがあったのかは定かではありませんが、未だ堂々たる枝振り、多くの大枝が支柱も無く大天蓋を支えています。また、周囲どこから見ても見えます。また、「名木」と称するにふさわしい樹姿です。幹に括り付けられたワラ人形は鐘。集落内に悪鬼が入るのを防ぐ役割を担います。像高約3m、二本の角を付け、ケヤキと一体となった姿は、心奪われるものがあります。



地域の人々によって毎年6月に衣替えをする鍾馗様

本堂城跡の大ケヤキ
【仙北郡美郷町】



樹木たちの声に
耳をかたむけてみませんか。

公益社団法人秋田県緑化推進委員会が実施した調査をもとに、秋田県内の誰でも観察できる巨樹・古木277件を厳選しました。樹木の写真・データ・地図に、由来などを紹介するやさしい解説を添えたガイドブックです。

秋田の巨樹・古木

編集発行 公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

定価 1,543円(税込) おもめは最寄りの書店、または秋田文化出版(TEL.018-864-3322)

巨樹・古木
277本
掲載!!



数百年の歳月を越えて



もりのかぜ・ねっと

緑の募金大使「森っち」

INFORMATION



緑化推進委員会の主要事業

「緑の募金」運動の推進

～緑の募金運動を広く展開し、それを主な原資として次のような事業を推進しています。～

- **地域緑化活動支援**
市町村等が行う緑化イベントへの支援
- **緑化思想の啓発**
チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰
- **県民参加の森づくり推進**
森林祭等開催、市民グループ森林づくり活動支援

- **森林ボランティア育成**
ボランティア活動支援、リーダー養成
- **名木・古木等の保護**
診断、調査の支援
- **国土緑化運動**
国土緑化推進機構連携事業、東日本大震災被災地支援、公募事業

- **緑の少年団等育成**
交流会、学校緑化コンクール、活動支援、学校緑化、子供木づかい体験(つみ木のプレゼント)
- **緑化表彰**
各種緑化功労者、学校緑化コンクール等の表彰
- **公募による緑化活動の支援**
国土緑化推進機構及び県緑推の公募による緑化活動の推進

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災被災地のみどりの再生支援を行っています。

ダイドードリンコ(株)では、
環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

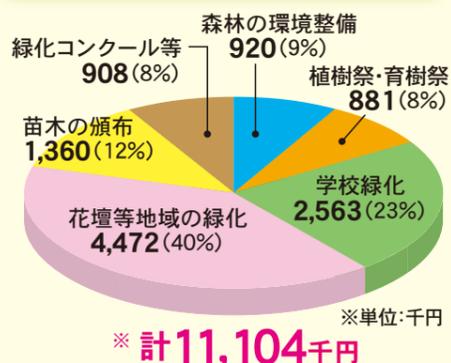
「緑の募金自販機設置」のお願い
新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

目印はこのパネル!!
この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



緑の募金は、こんなことに使われます。

市町村では、「緑の募金」をこんなことに役立てています。(平成28年度)



※地域緑化推進事業のうち、活動推進費、資材購入費、推進事務費を除いた緑化活動費の内訳です。

平成28年度の「緑の募金」
募金実績
29,369千円



平成29年度の「緑の募金」
目標額
35,000千円

TOPICS 1

平成29年度秋田県緑の交流集會を開催しました!!

8月2日(水)～3日(木)の2日間、八峰町の「あきた白神体験センター」で開催した交流集會には、福島県猪苗代町立緑小学校の4人をはじめ35名の子供たちが参加しました。



初日、最初の活動は「御所の台里山トレッキング」でした。6班に分かれて、ブラザクリプトン・インストラクターや森の案内人と自然観察やクイズなどを行いました。コース途中の絶景ポイントからは八森漁港を眼下に見下ろすことができ、炎天下の疲れも吹き飛びました。

夕食のあとは、貝がらストラップ作りに挑戦しました。細かい手作業に最初は戸惑っていた子供たちも、センタースタッフの丁寧な指導ですぐにコツをつかみました。約1時間ほどで自分だけのオリジナルストラップが完成、ご満悦の表情でした。

二日目は、シーカヤックと海辺の自然観察を行いました。みんなが特に楽しみにしていたシーカヤックは、波の静かな絶好のコンディションの下での体験となりました。2人一組になって砂浜から漕ぎ出しましたが、初めは息が合わず苦労していたものの、大人たちの心配をよそにどの組も程なく縦横無尽に艇を操っていました。「山あり海あり」の豊かな自然に存分に触れ、まさに水と緑を愛する心を育むことができた二日間でした。



TOPICS 2

前理事長 桃崎富雄さんが地域環境保全功労者表彰を受賞

環境省では毎年、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して顕著な功績があった個人・団体に対して、その功績を称えるため、環境大臣による表彰を行っています。

今回、秋田県からは、当委員会前理事長の桃崎富雄さんが地域環境保全功労者表彰を受賞しました。桃崎さんは、多年にわたり環境保全活動の担い手となる環境団体の育成に携わり、各種団体の代表を歴任したほか海外でも指導を行うなど、自然保護や環境保全の普及啓発及び実践活動の促進に大きく貢献したことが評価されたものです。

そして、7月8日に湯沢市・小町の郷公園で開催された「2017あきた水と緑の森林祭」では、その受賞を記念して記念品が贈られました。



MEMO

- 1月21日(土) ● 秋田市で「冬の森林祭2017」協賛、つみ木ワークショップを開催
- 3月22日(水) ● 秋田市で「(公社)秋田県緑化推進委員会第46回通常総会」開催
- 4月15日(土) ● 農林中央金庫秋田支店が、プランターを寄贈 ぽぽろーどで贈呈式および募金活動
- 4月29日(土) ● 秋田駅前「緑の募金街頭キャンペーン」を開催 ● 農林中央金庫秋田支店が、募金や緑化活動の支援グッズとして「花の種」寄贈
- 5月22日(月) ● 鶴田有司県議会議長が当委員会会長に就任
- 5月28日(日) ● 富山県魚津市で第68回全国植樹祭
- 7月 8日(土) ● 湯沢市小野で、「2017あきた水と緑の森林祭」を開催
- 8月 2日(水)～3日(木) ● 八峰町のあきた白神体験センターで、「秋田県緑の交流集會」を開催
- 8月18日(金) ● 森の名手・名人に2人の方が選定された秋田市 工藤 定夫氏(木製家具製造) 湯沢市 高橋 栄一氏(広葉樹伐採)
- 8月27日(日) ● 秋田市御所野のイオンモール秋田で「ウッドファーストあきた」後援、つみ木ワークショップを開催
- 9月15日(金) ● 大仙市協和船岡及び秋田市河辺岩見で「中通小学校林業体験学習」を開催
- 10月18日(水) ● 大仙市立豊成中学校で、学校環境緑化モデル事業完成式典
- 10月22日(日) ● 道の駅うごで「ウッドファーストあきた」後援、つみ木ワークショップを開催
- 11月19日(日) ● 香川県満濃池森林公園で第41回全国育樹祭

もりのかぜ

Vol.9

編集・発行

平成29年9月5日(火)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会
〒010-0941
秋田市川尻町字大川尻170-169 森林環境会館内
TEL018-883-0815 FAX018-883-0816
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp
URL http://akiryoku.ec-net.jp/

制作

有限会社 バレア

〒010-0942 秋田市川尻大川町2-8
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

編集後記

4月から当委員会の事務局を預かって早や5ヶ月。日々、様々な活動や行事などの準備やら打合せに動していますが、なにぶん不慣れなため時間はあっという間に過ぎていきます。年を追うごとに月日が経つ早さを感じていましたが、近頃は「光陰矢の如し」の矢がどんどん加速するような、そんな思いを強くしています。

そうした中であって、なんとか「もりのかぜVol.9」の発行に漕ぎ着けることができ、安堵しながら校正のページをめくり思うことは、秋田には豊かな自然・文化に根ざしたコンテンツがまだまだ沢山あるな、ということです。

8月上旬に開催した「緑の交流集會」へ参加した福島県猪苗代町立緑小学校の金澤先生はこう言っていました。「福島は自然が豊かですが、秋田にはそれに勝る山と海があることを実感しました。そして、人の温かさにも触れました」。エールを送られたと感じたのは私だけでしょか。(Y.)

みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をおねがいします。
■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



実施主体 / (公社) 秋田県緑化推進委員会
市町村・市町村緑化推進委員会

緑の募金でふせごう地球温暖化

平成29年度 ウッドファーストあきた木材利用ポイント事業**実施中**

県産材で新築などをすると 最大40万円相当^{ポイント}もらえる!!



いいね
県産材

県産材を使ってポイント獲得!! 県産品・助成金と交換しよう!!

ウッドファーストあきた木材利用ポイント事業とは

県産材で家を建てたり、ペレットストーブ等を購入するとポイントが発行され、そのポイントを県産品や助成金と交換する事業です。

県産材の構造材・下地材等を使用する
県産材の内装材を使用する
ペレットストーブ等や県産木製品を購入する

◆様々な秋田の県産品の中から
お選びいただけます



※写真はイメージです

木材利用ポイントの発行対象

ポイント発行対象:平成29年4月1日から平成30年1月31日までの期間に自宅の新築又は購入、ペレットストーブ等の購入をした場合が対象となります。

※ポイント発行には条件があります。詳細はお問い合わせください。

ポイント獲得

県産品・助成金との交換!!

【申請期間】平成29年6月1日(木)～平成30年2月9日(金) **【交換期間】**平成29年7月3日(月)～平成30年3月2日(金)

※ポイント発行数が予算枠に達した場合は、申請期間内でも受付を終了します。

お問合せ

秋田県木材産業協同組合連合会
秋田県林業木材産業課(木材利用推進班)

TEL:018-837-8091

TEL:018-860-1915

秋田県公式Webサイト 美の国あきたネット

詳細はウェブサイトをご覧ください!!

<http://www.pref.akita.lg.jp/>

ウッドファーストあきた29 検索